

不適合評価指標（CAQ影響度）

福島第二原子力発電所では、不適合評価指標について、
原子力安全への影響度（CAQ※）に応じて、下記の通り区分しています。

CAQ影響度	
CAQ高	原子力安全の裕度が著しく低下した事象 もしくはその可能性が高い事象
CAQ中	安全確保の機能又は性能に影響を及ぼす事象 もしくはその可能性が高い事象
CAQ低	原子力安全（品質）に影響を及ぼす事象 もしくはその可能性が高い事象
Non-CAQ	リスクを考慮しても原子力安全（品質）に影響しない事象

※：CAQ（キャック）とは、原子力安全に影響を及ぼす状態のこと（Condition Adverse to Qualityの略）。

【参考】旧不適合管理の区分

(2010年4月1日～2026年7月31日 審議分)

2026年7月31日までに審議した不適合については、下記の通り区分しています。

グレード	
GⅠ	発電所施設運営に重大な影響を与える事象
GⅡ	発電所施設運営に影響を与える事象
GⅢ	軽微な不適合事象

【参考】旧不適合管理の区分

2010年3月31日までに審議した不適合については、下記の通り区分しています。

グレード	不適合の分類
As	法令、安全協定に基づく報告事象 プラントの性能、安全性に重大な影響を与える事象 など
A	品質保証の要求事項に対する重大な不適合事象 定検工程へ大きな影響を与える事象 など
B	国の検査等で指摘を受けた不適合事象 運転監視の強化が必要な事象 など
C	品質保証の要求事項に対する軽微な不適合事象 など
D	通常のメンテナンス範囲内の事象 など